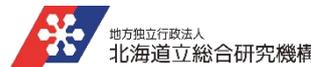


令和7年5月20日

報道機関各位

第3回 江原研究院・道総研 研究交流会



韓国 江原（カンウォン）研究院と地方独立行政法人北海道立総合研究機構（道総研）は、両地域が抱える 課題の解決に向け、双方の取組・成果についての情報交換や友好協力を目的とした交流を進めています。この度、環境をテーマに研究交流会を開催しますので、積極的な取材をお願いします。

◎日 時

令和7年5月27日（火）14:00～16:40（開場 13:30）

◎場 所

北海道総合研究プラザ 1階 セミナー室（札幌市北区北19条西11丁目）

◎テーマ

「持続可能な社会に向けた環境の未来」

* プログラムについては、別添資料をご確認ください。

◎報道（取材）に当たってのお願い

お手数ですが、当日の取材につきましては、事前に
企画・広報室（下記）にご連絡ください。



第2回研究交流会（R6/1/16；韓国）の様子

江原研究院とは

韓国 江原特別自治道の中長期開発戦略等に基づき、地域の政策開発等を行っています。設立は1994年9月。職員は66名（うち研究員39名）。2025年度は次の研究課題等に取り組む予定。

- 1) 自治分権制度の改善と超広域事業推進戦略、2) 先端産業育成及び企業活動支援研究
- 3) 人口消滅対応と地域生活環境基盤改善研究

江原特別自治道とは

韓国北東部に位置する特別自治道。人口は約150万人。面積は岩手県よりやや広く（約16,873km²）、韓国の中では最も寒冷で降雪量も多く、北部には多くの希少種が生息する。特産品はジャガイモやトウモロコシなど。

詳しくはこちらへお問い合わせください。

地方独立行政法人 北海道立総合研究機構（道総研）

経営管理部 企画・広報室 企画・広報グループ 垣原・永田

電話 011-747-2900 Email hq-kouhou@hro.or.jp *土・日はお休みです。

第3回 江原研究院・道総研 研究交流会

開催概要

日時 2025年5月27日(火) 14:00~16:40

会場 北海道総合研究プラザ セミナー室

テーマ 「持続可能な社会に向けた環境の未来」

プログラム

- 14:00 開会
- 14:05 小高理事長 あいさつ (5分)
- 14:10 「江原特別自治道の環境分権ー環境影響評価の推進方向」(25分)
韓榮漢 (ハン・ヨンハン) 環境研究部 部長
- 14:35 「江原特別自治道の環境保全型農業の持続可能な発展方向」(25分)
崔益彰 (チェ・イクチャン) 研究委員
- 15:00 質疑・応答 (15分)
- 15:15 休憩 (10分)
- 15:25 「北海道の湖沼の水環境保全に関する研究」(25分)
木塚俊和主査 (エネルギー・環境・地質研究所 環境保全部)
- 15:50 「北海道における気候変動の影響と、
その影響を行政や市民に伝えるための工夫」(25分)
鈴木啓明主査 (エネルギー・環境・地質研究所 環境保全部)
- 16:15 質疑・応答 (15分)
- 16:30 玄鎮権 (ヒョン・ジングォン) 院長 あいさつ (10分)
- 16:40 閉会